

平成28年第3回定例会一般質問

日 時 9月1日(木)、2日(金)、5日(月)、6日(火)
 いずれも午前10時から
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

発言順	議員名	質問日(予定)
1	中山 克己	平成28年9月1日(木)
2	吹春 やすたか	
3	露 口 哲 治	
4	百 瀬 和 浩	
5	関 根 優 司	
6	小 林 正 樹	
7	渡 辺 大 三	平成28年9月2日(金)
8	宮 下 誠	
9	遠 藤 百合子	
10	渡 辺 ふき子	
11	紀 由紀子	
12	田 頭 祐 子	
13	林 倫 子	平成28年9月5日(月)
14	斎 藤 康 夫	
15	板 倉 真 也	
16	坂 井 えつ子	
17	水 上 洋 志	
18	鈴 木 成 夫	平成28年9月6日(火)
19	片 山 薫	
20	中 根 三 枝	
21	森 戸 洋 子	
22	岸 田 正 義	

一般質問の通告について

発言順

1

平成28年8月22日
(西暦2016)

(あて先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

中山克己

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて市の対応は。 (1) 無料WiFi等のネット環境の市内整備推進を。 (2) おもてなしの活力推進は。 (3) 外国選手団の招致・招聘など今後の市の考えは。	
2. 庁内クールビズの一環として「こきんちゃんポロシャツ」再販を。	
3. 前原暫定集会施設の行政使用により、一部、市民の予約・利用に支障が出ている。改善を求める。	
4. 公共施設の設備等の整備・充実について。 (1) 高齢者の憩いの場としての環境整備の拡充を求める。 (2) 映像対応のためのプロジェクター機能の更なる整備・充実を。	
5. ごみ減量と環境への配慮に向けたリサイクル品回収の取組みを。	

表題及び質問の具体的内容	備考
6. はげの森美術館の運営について	
(1) 学術的専門性を構築するために学芸員の任期の考慮を。	
(2) 茶室の維持管理について改善を。	
(3) 喫茶室の運営について。	
7. 民生委員の改選に併せ、活動に向けての更なる支援体制の	
構築を。	
(1) 民生委員・児童委員の改選後の現状は。	
(2) 現状となった点について、根本原因の分析、市の見解は。	
(3) 今後の対策について。	
8. 武蔵小金井駅南口第2地区再開発に関して問う。	
(1) 今回の事業計画変更について問う。	
(2) 今後のスケジュールと市の取組みについて問う。	

記入上の注意

- 1 記入に際しては、表題、個別の表題、質問の具体的内容等に区分して記入してください。
- 2 表題には、1、2・・・、個別の表題には、(1)、(2)・・・と区分するための番号を付けてください（番号の付設された部分をホームページに掲載します。）
- 3 質問については、なるべく具体的に記入してください。
- 4 「その他」等の記入はできません。
- 5 一般質問に際して、資料を要求する場合には、資料要求書を別途提出してください。
- 6 この通告書は、コピーして配付いたしますので、ボールペン等を使用し、鮮明な文字で、読みやすいように記入してください。

一般質問の通告について

発言順

2

平成28年 8月22日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

吹春やすたか

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 「ほんちょう学童」の施設問題と市内施設の利用について	
・ 2所化運営の「ほんちょう学童」の対策はその後どうなっているか。	
・ 「学保連」運動会や「市内スポーツ団体」での施設利用はどうなっているか。	
2 小金井市消防団について	
・ 消防団の出動現場での無線連絡をスムーズにできないか。	
・ 2年毎の消防団の改選期の小金井市の対応はどうか。	
3 小金井市の震災対応について	
・ 「自助、共助、公助」に対する小金井市の見解と広報状況はどうか。	
・ 小金井市職員への防災訓練はどうか。	
・ 震災発災した場合「災害対策本部」立ち上げの具体的なスケジュールはどうか。	
・ 震災発災直後の小金井市職員の連絡網はどうなっているか。	
・ 市内の市立小中学校以外の学校(中学校、高校、大学)や、商業施設、また支援物資搬入搬出拠点となりうる施設や業者との災害協定はどうなっているか。	
・ 熊本地震で、小金井市と職員も多くの経験をしている。その経験を生かし、収集した情報を基に、新しい施策の提案はあるか。	
4 小金井市の“魅力”の有効活用について	
・ 国土交通省「手づくり郷土(ふるさと)賞」で、小金井の「野川とはげ」の魅力を発信してみないか。	

一般質問の通告について

発言順

3

平成28年 8月22日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

露口哲治

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、小金井市の空き家・空き地対策を問う。	
平成25年度、緊急雇用対策事業として空き家実態調査が行なわれている。所掌しているのは地域安全課ですが、空き家・空き地への不法投棄に関しては環境政策課やごみ対策課、空き家や空き地の持ち主の相続問題や土地の整理などは、市民課、資産税課、まちづくり推進課、空き家対策については全庁的に係わりのある問題と考えています。 国は空き家対策特別措置法で、自治体は関連条例や空き家条例等の立ち上げ、その他法律相談、不動産関連団体を紹介することなどいろいろな施策によって人口減少社会での空き家対策に努めています。	
(1) 小金井市の今日現在の空き家や空き地についての苦情や問い合わせはあるか。小金井市の平成25年度以降の空き家・空き地の傾向を把握しているか。特定空き家等の指定はあったのか。	
(2) 小金井市では空き家・空き地への苦情対策は、上位法や環境基本条例(枝木)や安全・安心まちづくり条例(防犯)等を基本に対応していると思う。 国の空き家対策特別措置法と連動して、空き家等(空き地)対策の条例化への取り組みはどのようになっているのか。	
(3) 小金井市でも不動産関係、法務関係等の業界と情報交換できる体制をつくるべきではないか。	
2、生活保護について問う。	
生活保護受給者は増える一方です。最近では生活保護受給者には厳しい対応も報道されています。	
(1) 小金井市の現状を問う。支給判断の可否は、誰がどのように決定するのか。	
(2) 住居についてはどういったケースがあるのか(一般アパート、施設等)。一般アパートへの市の対応は十分か。	

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
(3) ケースワーカー等職員体制は十分か。	
3、第二庁舎について問う。	
<p>小金井市は、平成4年、市役所用地として「蛇の目ミシン工場跡地」を取得しました。しかし、用途地域（容積率）の変更をする必要があり、土地を買った借金で建設資金も底をつき、建設用地の前にある緑中央通りの道路幅が狭かったなどの理由で市役所建設はできませんでした。</p> <p>そこで、平成5年度に現在の市役所第二庁舎を仮の市役所として10年の賃貸借契約を結び、契約を延長して今日に至っています。</p>	
<p>(1) 平成26年、今から2年前には第二庁舎の買取計画が浮上したが、財政計画の安易さが指摘され、計画は頓挫した。今、庁舎と福祉会館を合理的手法で建替える計画をしている中、第二庁舎はいつ手放すのか、財政面での損得勘定はどう考え、どう市民に説明するのか。</p>	
4、緊急輸送道路について問う。	
<p>災害時の物資輸送や緊急車両の道路網整備は重要です。都市計画道路3-4-1号線や3-4-11号線は完成時に特定緊急輸送道路となり小金井市や多摩地域の重要な役割を担うものと考えられます。</p>	
<p>(1) 2路線については、環境を第一に考えること、そして緊急時に役立つ路線として重要だと考えるが如何か。特定緊急輸送道路に指定されると考えているのか、市の見解を伺う。</p>	
<p>(2) 連雀通りの小金井街道前原坂上交差点から本庁舎までは、特定緊急輸送道路に指定されている。蛇の目ミシン工場跡地に庁舎が建設された場合はどうなるのか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

5

平成 年 8月24日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 関根優司

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 税滞納者の最低生活を守る滞納整理を	
(1) 職員の担当件数は1職員平均300件以内という都の判断基準は守っているのか。	
(2) 国民健康保険料も住民税ももともとが低所得者には払いきれない税率。負担を軽減させることが必要。	
(3) 小金井市でも議会・行政の共通認識になっている、生活再建型の滞納整理の到達はどうか。特に借金があるケースは、差押禁止財産を差し押さえないということだけでは、滞納者の最低生活を守れないではないか。	
(4) 国税徴収法の強権的規定はどうしてもやむを得ない時のための最後の手段として決められたことを肝に銘ずるべき。	
(5) 差押禁止財産も預金に振り込まれると差押禁止財産の属性を失うという先例となった最高裁判決を読んでも、預金に振り込まれたら一律に属性を失うという結論にはならない。預金の差押えでも、差押禁止財産以上の差押えはやめるべき。(失業して滞納し、ようやく再就職できた給料を差し押さえるようなことはすべきでない。)	
(6) 差押禁止財産部分＝生活保護水準の生活を維持しながら滞納額を支払いつづけても国税徴収法の規定より長い納税猶予・分納期間になるケースは、滞納処分	
の停止にするのが法の規定に沿ったやり方ではないか。	
2. 都市計画道路の計画区域内の住民の声を聴き市長は自治権を発揮し都に申し入れを	
(1) 計画道路に選定した納得できる説明がない。住民生活を破壊する道路である。はげの自然を破壊する道路はつくるべきでない。	
(2) 沖縄の翁長知事のように市長は住民の声をまっすぐ都に伝えるべき。	

一般質問の通告について

発言順

6

平成28年08月24日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えてICTを使ったサービスの向上を</p> <p>(ア) 公共施設のWi-Fiを平時において一般解放しないか (イ) Facebookを使った情報発信を行わないか (ウ) 「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を参考にして協定を結ばないか</p> <p>2. 父親の子育て参加の推進を</p> <p>(ア) 父子手帳の交付を行わないか (イ) 「イクメン認定制度」を設けて、やる気のあるパパを後押ししないか (ウ) 公式に「イクボス宣言都市」の仲間入りをしないか</p> <p>3. より実効性のある事業継続計画(BCP)に向けて</p> <p>(ア) ICT関係の対策について (イ) 相互応援協定を締結している都市との連携について (ウ) 実施訓練について</p>	

平成28年8月24日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺大三

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 床面積を大幅に減らし、コストダウンで市庁舎建設を</p> <p>(1) 市庁舎及び福祉会館の早期建設に向けての今後のスケジュール及び財源計画はどうなっているか。</p> <p>(2) 危機的財源不足の小金井市の新庁舎は、当面、「フル規格 (12000 m²)」ではなく、「現在の面積 (8700 m²/本庁舎 2700 m²+第二庁舎 6000 m²)」を基本に整備すべきではないか (※福祉会館は別途 3500 m²)。フル規格で整備した場合、図書館本館や公民館本館の建て替えに財源的な支障は出ないのか。</p> <p>(3) 庁舎建設基金は、「余ったら積む」から「計画的に積む」への転換を (このたび補正予算で3億円を積み増すことを評価しつつ、さらに踏み込んだ対応を求める)。</p> <p>(4) 蛇の目ミシン工場跡地北側のJR中央線高架下は蛇の目ミシン工場跡地と一体で活用すべきではないか。</p> <p>2 小池新知事に都道2路線計画の見直し要請を</p> <p>(1) このたびの都知事選で、小池百合子氏が史上初の女性都知事に就任した。小池知事は、都知事選において、舛添前知事が拙速に決定した小金井市内の都道2路線優先整備方針に関して「見直し」の可能性に言及している。適切な時期に現地視察を実施していただくよう要請し、優先整備路線からの除外を求めていくべきではないか。市長の方針を問う。</p> <p>(2) 小金井橋北詰交差点 (五日市街道) の渋滞緩和に向けて、同交差点の東側にある右折レーンの延長を都に働き掛けないか。</p> <p>3 庁議 (行政の最高意思決定会議) の議事録の「自発的」公開を</p> <p>(1) 庁議 (行政の最高意思決定会議) の議事録は、情報公開請求や議会の資料請求があった場合にのみ「消極的」に公開されているが、「自発的」には公開されていない。情報公開のさらなる推進の観点で、市役所HPにおいて「自発的」に公開することを求める。</p>	

一般質問の通告について

発言順

10

平成28年8月24日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺ふみ子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、がん検診の更なる拡充について	
①肺がん検診の日数拡充による成果について	
・自己負担による受診後退はあったのか、また今後の対応は。	
②乳がん検診の充実について	
・検診の際に乳がんの自己診断の方法と、乳房再生等の認知を行うべき。	
・超音波検診を選択できないか。	
③各種がん検診における要精密検査受診者の結果掌握について	
・精密検査未受診者への個別対応を行うべき。	
④血液検査におけるピロリ菌検査、前立腺がんのPSA検査の導入について	
・希望者には自己負担で検査を行えないか。	
2、安全・安心のまち小金井市を築くために	
今こそ小金井市のストーカー対策を前進させるべき。	
・相談窓口など、これまでの取り組みについて。	
・見守りボランティアを拡充しないか。	
3、不妊症・不育症対策について	
子どもの元気なまち小金井市を目指し、不妊症や不育症に悩む市民を支援しないか。	
・相談窓口の整備等対策は進んでいるか。	
・不妊症・不育症の治療費を助成しないか。	

一般質問の通告について

平成28年8月24日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援	
(1) マタニティ・バビーカー相談室を開設しないか 妊娠期からの支援を厚く行うため、この相談室 母子帳を発行し、保健師や助産師が妊娠出産に 関する心配事や不安についての相談に応じたり、 子育て支援サービスの情報提供も行うものである。 子育て世代を総合的にサポートする日本版ネオボラ (子育て支援拠点)の設置の提案。	
(2) 子育て応援のメール配信を行わないか(再度問う) 登録すると妊娠期の胎児の成長や母体の情報が産 出産後から育児中は、乳児の状態や子育てアドバイスが 配信される。予防接種のスケジュールもメールで届く。	
2. 脳脊髄液減少症の周知について 平成28年4月より硬膜外自家血注入法(通称フラットバック)が 保険適用となった。	
(1) 現状はどうか。	
(2) 教育現場も含めて周知しないか。	

一般質問の通告について

発言順

12

平成 28 年 8 月 24 日
(西暦 2016 年)

(宛先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭初子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容

備考

(1) まちの保健室を作ろう！制度の狭間にいる人へ寄り添った支援を！

～子どもの貧困、若者の引きこもり、高齢者の孤立、ごみ屋敷など、制度の狭間にある人と地域資源をつなぐ役割と窓口が必要～

①「小金井市保健福祉総合計画」の地域福祉計画と、社協の「小金井市地域福祉活動計画」の関係は。

②地域福祉コーディネーターの役割、必要性は。地域福祉活動計画にある、モデル地域の総合相談窓口や、地域福祉コーディネーターは配置されたのか。

③小学校区ごとに地域福祉コーディネーターを配置し、誰でもどんなことでも相談できる拠点、まちの保健室を作らないか

(2) 富山型サービスや共生型グループホーム作りを小金井でも進めないか

～障がい者も高齢者も子どもも共に暮らす拠点づくりを進めよう～

①高齢者と赤ちゃんが共に過ごす居場所づくりを進めるために、市が出来る事はなにか

②高齢者と障がい者が共に暮らす、共生型のグループホーム作りを進めるためには何が必要か

(3) 学校給食費は公会計で行い、教員の負担を軽減しよう

①「地方自治体が自らの業務として行う」～文科省の新しい見解について～

2016年 8月24日

(平成28年)

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

杯倫子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 不必要な化学物質を減らして、健康被害をなくそう</p> <p>(1) 小金井市における有害化学物質対策はどのようになっているか</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公共施設のシックハウス状況は・ 化学物質過敏症の相談はあるか (保育園、幼稚園、小中学校、成人) <p>(2) 予防医学の観点から対策と啓発を</p> <p>(3) 石けんの利用促進を</p> <p>2. 小金井版生物多様性地域戦略を作ろう</p> <p>生物多様性国家戦略2012-2020が策定され、地域戦略をもつ自治体が増えている</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小金井市域の状況を調査しないか・ 他自治体のように地域戦略や条例を制定するべきである <p>3. 学校施設の修繕に対する考え方を問う</p> <p>(1) 台風による雨漏りなどの報告があるか</p> <p>(2) 学校施設の長寿命化計画策定前ではあるが、雨漏りは長年の懸案事項。前倒して修繕を行わないか</p>	

一般質問の通告について

発言順

14

平成 28年 8月 24日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 空き家対策推進を求める</p> <p>ア) 特定空き家の指定条件は</p> <p>イ) 利活用の方針は</p> <ol style="list-style-type: none">1. 民間取引との相違をどのように考えるか2. 民間取引が不可能なケースとは <p>ウ) 利活用可能物件をどのようなシステムで流通させるか</p> <ol style="list-style-type: none">1. 他市のケースを参考にする2. 耐震診断・耐震改修費用の助成は可能か <p>エ) 利活用の方法について考える</p> <ol style="list-style-type: none">1. 住宅2. 共同住宅3. 店舗4. グループホーム5. デイケアセンター6. 保育施設7. 集会室8. 府中式公会堂9. 市民農園 <p>2. 都市計画変更により固定資産税の増収を図るべき</p> <p>ア) 市内用途地域の実態を他市と比較する</p> <p>イ) 駅から遠隔地の幹線道路交差部の用途地域は見直すべき</p> <p>ウ) 住居系の建ぺい率・容積率の見直しをすべき</p>	

一般質問の通告について

発言順

15

平成 年 8月 24日
(西暦2016年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 就学援助制度の充実を (1) 認定基準を「1.8」に戻せ (2) 入学時学用品費のさらなる拡充を (3) 入学時学用品費は入学前に支給すべき (4) クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を給付対象に加えよ	
2. ココバス「貫井前原循環」と「野川・七軒家循環」の充実を (1) 「貫井前原循環」の運行時間の拡充を (2) ココバスを東八道路の南側地域まで運行を (3) 「野川・七軒家循環」の増便を (4) ココバス全体の今後の方針、考え方を問う	

一般質問の通告について

発言順	16
-----	----

平成 年 8月 24日
(西暦 2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 坂井えり子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 性的マイノリティー (LGBT) の人も自分らしく暮らせる小金井に	
(1) 第四次男女共同参画行動計画における LGBT の位置づけは。LGBT の人権や LGBT を取り巻く社会状況をどう捉えているか、市長の見解は。	
(2) 先進事例を参考に小金井でも取り組みを!	
① 第五次男女共同参画行動計画で、「LGBT の人権」「差別禁止」を明文化しよう	
② LGBT の相談窓口を設置しよう	
③ 学校や市役所で LGBT を周知し、教職員研修を実施しよう	
④ 同性カップルの存在を小金井市として認めていこう	
8月、LGBT の法科大学院生が大学内建物から転落死したことが明らかになった。「アウティング」が引き起こした自死であり、差別や偏見が残ることを改めて突き付けられた。多様な性のありかたを互いに認めていける社会の実現が急務である。行政として LGBT の人権を守っていこう。	
2 広げよう! 政治参加 守ろう! 参政権	
(1) 参院選・都知事選における市内 18、19 歳の投票率は。今後行われる選挙のお知らせや啓発にどう活かしていくのか	
(2) 投票率アップの取り組みは? 進捗を確認。	
① 期日前投票所の増設	
② 音声・点字の選挙公報	
③ イベントポールへの懸垂幕掲出	

一般質問の通告について

発言順	18
-----	----

平成28年8月24日
(西暦2016年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 鈴木成夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
「インクルージョン都市こがねい」実現に向けた市の取り組みを問う	
①「障がいがある人もない人も共に暮らせる環境づくり」について	
・避難行動要支援モデル事業実施地域外の対象者支援策を検討しないか	
・グループホーム・ケアホーム整備の現状と課題は何か	
②「市民一人ひとりの理解と交流を育む意識づくり」について	
・広報・啓発の充実、交流・ふれあいの促進は進んでいるか	
・地域福祉ネットワーク形成、ボランティア等への支援体制の現状は	
③「障がいのある人の社会参加に向けた自立の基盤づくり」について	
・障がいの早期発見・早期療育は実現しているか	
・LD (学習障がい)、ADHD (注意欠陥/多動性障がい) 等の子どもたち支援のための関係部署の連携と、成長過程に合わせた相談支援体制、発達支援ネットワーク構築の現状と課題は何か	
・雇用と就労の促進についての現状と課題についての認識はどうか	
④「障がいのある人が安心して暮らしていくための仕組みづくり」について	
・居宅生活支援サービス等、様々なサービス需要増加への対応策はあるか	

2016年8月24日

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山 かつる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容

1. だれもが差別されず共に生きる社会をつくろう
相模原の障がい者施設での大量殺人事件で、多くの市民がショックを受けました。今こそ小金井の中で「だれもが差別されず共に生きる～共生社会」という理念を発信していくべきではないでしょうか。
 - 1) 市内の障がい者の生活状況と課題。
 - 2) 共生社会実現に向けての市の取組み。市長の見解。
2. 原発事故避難者への支援について
5年前の原発事故による避難者への国からの住宅支援が来年3月に打ち切り、縮小されます。自治体での支援体制の強化が必要ではないでしょうか。
 - 1) 小金井で把握している避難者の状況と市の支援状況。
 - 2) 空家空き室活用など、独自の支援策を打ち出すべきではないか。
3. 環境配慮住宅型研修施設を小金井の観光資源、自然・省エネルギーの発信地として活用しよう
 - 1) 「環境楽習館」と平行して「雨デモ風デモハウス」の名称も宣伝等に再度活用しないか。
 - 2) 環境意識啓発に有効活用するため、施設の利用見直しや施設運営の研修を。
 - 3) エクセルギーの理論を市内の施設や民間、他市にも宣伝し活用しよう。
4. 都知事選での市長会の対応について
 - 1) 増田候補推薦についてどこで議論されたのか。西岡市長の対応は。
 - 2) 公用車、公費を利用した市長会の場の政治活動利用は問題ではないか。

平成28年8月24日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員
(署名)

中根三枝

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
子どもたちの健全育成を願って	
1. 児童館の使用状況について	
(ア) 学童保育所に行く子と児童館利用の子ども の割合	
(イ) 児童遊園、児童館の利用状況	
(ウ) 子育てや子どもの問題に不足する大人の 活動状況。	
2. 子ども食堂について	
(ア) 孤食や欠食の実態を把握しているか	
(イ) 子どもが一人で入れる食堂として受け付けて 必要とする人たちが安価で食せる食堂を 市内に数か所作るのか	
(ウ) 営業に当たって一般の食堂と違いはあるか 保健所の関係は。	
3. ひとり親家庭相談窓口のワンストップ化	
推進の状況は。	

